

循環器・呼吸器病学

担当講座	内科学講座 循環器内科分野	問合せ先	循環器内科分野
分野責任者	森野 禎浩 教授	連絡先	循環器内科医局 内線6413
担当教員	森野 禎浩 教授 伊藤 智範 教授（地域医療学分野） 石田 大 准教授 大和田 真玄 准教授 熊谷 亜希子 講師（臨床検査医学・感染症学講座） 肥田 頼彦 講師 那須 崇人 講師 二宮 亮 講師 佐々木 航 助教		
人材育成の 基本理念	循環器病学の専門的な知識を有し、循環器疾患の病態解明及び新しい治療法の研究が遂行できる人材を育成する。		
主な研究内容	循環・呼吸系は、生体のエネルギー産生に必要な酸素を組織に供給する上で、欠くべからざる臓器である。これらの臓器の不全は、生命活動を容易に障害し、直接生死を左右する。このため循環器・呼吸器病の医療は救急医療を含めて、生命維持の根幹をなす極めて重要な部門である。全ての医療関係者に求められる循環器・呼吸器領域全般の基本知識、病態生理学の基本、臨床薬理、さらには治療法について講義し、十分な理解と共に、その応用力を養う。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果		該当するディプロマポリシー
	循環器・呼吸器疾患の病態を理解して、診断及び治療を行うことができる。		1, 2, 3, 4, 5, 6
到達目標	到達目標		対象科目
	(1)生命科学や、医療行為のための基本的な知識・技能を活用できる。		医学概論
	(2)計画に従って適切な研究を実施できる。		特別研究Ⅰ・Ⅱ
	(3)研究結果を適切にまとめ、発表できる。		特別研究Ⅰ・Ⅱ
	(4)高い専門知識や熟練した技能・技術で、多職種連携業務に貢献できる。		多職種チーム医療
	(5)次世代の育成に貢献できる。		特別研究Ⅰ・Ⅱ
	(6)循環器・呼吸器疾患の診断・治療について、病態に基づき説明できる。		循環器病学-1,2,3,4,5、循環器病・呼吸器病演習Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ
資格取得等			
履修に関する 情報	履修申請の際には事前相談に応じる。社会人大学院生など、勤務等で講義に出席できない場合は、日程の調整に応じる。 (問合せ先：循環器内科分野、内線6413)		

●在学中に履修できるカリキュラム

区分		配当年次	科目名		開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究特論	必修	1 年	講義	循環器病学-1	前期	30コマ	4	20単位	
		1 年	講義	循環器病学-2	前期	15コマ	2		
		1年	講義	循環器病学-3	前期	15コマ	2		
		2年	講義	循環器病学-4	前期	15コマ	2		
		2年	講義	循環器病学-5	前期	15コマ	2		
		1年	演習	循環器・呼吸器病学演習Ⅰ	後期	30コマ	4		
		2年	演習	循環器・呼吸器病学演習Ⅱ	後期	15コマ	2		
		2年	演習	循環器・呼吸器病演習Ⅲ	後期	15コマ	2		
研究指導	必修	1 年		特別研究Ⅰ（中間審査）	通年	15コマ	2	4単位	
		2年		特別研究Ⅱ（論文作成）	通年	15コマ	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

循環器・呼吸器病学

コード	MM12141090					MM12141100					MM12141110					MM12141120				
科目	循環器病学-1					循環器病学-2					循環器病学-3					循環器病学-4				
科目責任者	森野禎浩					伊藤智範					大和田真玄					熊谷亜希子				
担当者	森野禎浩					伊藤智範					大和田真玄					熊谷亜希子				
会場	附属病院5F 循環器内科 教授室					附属病院5F 循環器内科医局 他					附属病院5F 循環器内科医局 他					附属病院5F 循環器内科医局 他				
区分等	区分	講義		単位	4	区分	講義		単位	2	区分	講義		単位	2	区分	講義		単位	2
	回数	前期30コマ		配当年次	1	回数	前期15コマ		配当年次	1	回数	前期15コマ		配当年次	1	回数	前期15コマ		配当年次	2
主な授業内容	症例に基づく循環器病学					虚血性心疾患					不整脈学					心臓超音波				
教育成果	臨床循環器学の総論的な部分を、選択した症例をもとに検討会形式でディスカッションし、広く学習し、習得する。					虚血性心疾患の病態・診断・治療に関して学習し、基礎的な技能を習得する。					不整脈の病態・診断・治療に関して学習し、基礎的な技能を習得する。					心臓超音波の基礎を学習し、使用法に関する演習を行い、超音波診断法を習得する。				
コンピテンス番号/達成度	コンピテンス1 A	コンピテンス2 A	コンピテンス3 A	コンピテンス4 A	コンピテンス5 A	コンピテンス1 A	コンピテンス2 A	コンピテンス3 A	コンピテンス4 A	コンピテンス5 A	コンピテンス1 A	コンピテンス2 A	コンピテンス3 A	コンピテンス4 A	コンピテンス5 A	コンピテンス1 A	コンピテンス2 A	コンピテンス3 A	コンピテンス4 A	コンピテンス5 A
	コンピテンス6 A					コンピテンス6 A					コンピテンス6 A					コンピテンス6 A				
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 ＜当該科目に関連する実務経験の有無 有＞ 大学病院における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。																			
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書																				

コード	MM12141130					MM12141140					MM12141150					MM12141160				
科目	循環器病学-5					循環器病・呼吸器病演習Ⅰ					循環器病・呼吸器病演習Ⅱ					循環器病・呼吸器病学演習Ⅲ				
科目責任者	佐々木 航					肥田頼彦					石田大					那須崇人				
担当者	佐々木 航					肥田頼彦、二宮亮					石田大					那須崇人				
会場	附属病院5F 循環器内科医局 他					附属病院5F 循環器内科医局					附属病院5F 循環器内科医局 他					附属病院5F 循環器内科医局 他				
区分等	区分	講義	単位	2	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	2	区分	演習	単位	2				
	回数	前期15コマ	配当年次	2	回数	後期30コマ	配当年次	1	回数	後期15コマ	配当年次	2	回数	後期15コマ	配当年次	2				
主な授業内容	脈管学					心臓カテーテル診断・治療学					循環・呼吸病態の評価					循環器・呼吸器疾患の病態と病理				
教育成果	中枢・末梢血管病の病態・診断・治療に関して学習し、基礎的な技能を習得する。					最新のカテーテル治療に関して学習し、治療機序やデバイスの仕組みを習得する。					循環・呼吸病態の評価に必要な検査方法に関して学習し、基礎的な技能を習得する。					循環器・呼吸器疾患の病態と病理を学ぶことにより、その診断・治療を理解する。				
コンピテンス番号/達成度	コンピテンス1 A	コンピテンス2 A	コンピテンス3 A	コンピテンス4 A	コンピテンス5 A	コンピテンス1 B	コンピテンス2 B	コンピテンス3 B	コンピテンス4 B	コンピテンス5 B	コンピテンス1 B	コンピテンス2 B	コンピテンス3 B	コンピテンス4 B	コンピテンス5 B	コンピテンス1 A	コンピテンス2 A	コンピテンス3 A	コンピテンス4 A	コンピテンス5 A
	コンピテンス6 A					コンピテンス6 B					コンピテンス6 B					コンピテンス6 A				
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。																			
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書																				

●各科目の授業計画

循環器・呼吸器病学

コード	MM12149010					MM12149020												
科目	特別研究Ⅰ					特別研究Ⅱ												
科目責任者	各（正）指導教員					各（正）指導教員												
担当者	各指導教員					各指導教員												
会場	各指導教員と相談の上決定					各指導教員と相談の上決定												
区分等	区分	演習		単位	2	区分	演習		単位	2								
	回数	通年15コマ		配当年次	1	回数	通年15コマ		配当年次	2								
主な授業内容	・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成 ・中間審査の準備					・生命科学や研究手法の専門的、発展的な知識 ・論文作成 ・最終試験の準備												
教育成果	生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 ＜中間審査＞ 1年次末までに実施。 研究指導教員同席のもと非公開で実施する。 研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。					生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 ＜論文作成＞ 学位申請までに実施。 論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文が作成できる。												
コンピテン番号/達成度	コンピテン1	コンピテン2	コンピテン3	コンピテン4	コンピテン5	コンピテン1	コンピテン2	コンピテン3	コンピテン4	コンピテン5								
	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A								
	コンピテン6					コンピテン6												
	B					A												
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 中間審査の詳細は、「中間審査の手引き」を参照。					各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。												
評価方法	「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。																	
講義日程	時間割参照																	
教科書参考書																		

●時間割

循環器・呼吸器病学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						基礎科目
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30	循環器病学1・2・3・4・5		循環器病学1・2・3・4・5	特別研究Ⅰ・Ⅱ		
6 限	19：40～21：10						
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						基礎科目
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30	循環器・呼吸器病演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	循環器・呼吸器病演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	循環器・呼吸器病演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	特別研究Ⅰ・Ⅱ		
6 限	19：40～21：10						

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30						
6 限	19：40～21：10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30						
6 限	19：40～21：10						